

災害に強いまちづくりをめざします！



須坂市消防団広報紙

2010 4
(平成22年)

さくら：消防団のシンボルマークは桜の花をモデルにしています

▲新春恒例の消防出初式が須坂小学校グラウンドで開かれた。(1月10日)

寒かった冬も終わり、ようやく暖かい陽射しも感じられるようになりました。

須坂市において、建物火災が昨年十月十八日より今日(三月三十日現在)まで、まだ一件も発生しておりません。火災の多くは不注意により発生しますが、この無火災は、市民の皆様が日頃より防火に努めておられることによるものと深く感謝申し上げます。

これから乾燥する季節となりますので、引き続き火の元に注意をお願い致します。

一方、全国では依然多くの火災が発生し、多くの方が亡くなっております。火災による死者の六割は逃げ遅れによるものとされており、その多くは、お年寄と子供達です。火災の早期発見、早期対応が重要です。家族を守る為にぜひ住宅用火災警報器の設置をお願い致します。

「備えあれば
憂いなし」



須坂市消防団長
よだ ひろあき
依田 浩明

副団長就任挨拶



須坂市消防団副団長
たなか としかつ
田中 敏勝

皆様、こんにちは。

平成二十二年一月一日より、須坂市消防団副団長に就任致しました田中敏勝です。どうぞ宜しくお願い致します。平成十九年十二月に退団をし、二年ぶりに現役復帰をする事になりました。出身は上八町、第八分団です。久しぶりに消防団活動に戻り、この何とも言えない緊張感が戻ったなど感じています。

今までは分団長として、自分の分団を見てたわけですが、これからは全団を見ていくわけです。各分団の分団長と、コミュニケーションをしっかりととり、又依田団長、成田副団長の補佐をし、よりよい消防団になるよう、がんばっていきたいと思いますので、これから、よろしくお願ひします。

消防団とは

消防団は、本業を持ちながら「自分たちのまちには自分たちで守る」という郷土愛護とボランティア精神に基づき組織された市町村の消防機関の一つです。

消防団員は、消防・防災に関する知識や技術を習得し、火災発生時における消火活動、地震や風水害などの大規模災害発生時における救助・救出活動、警戒巡視、避難誘導、災害防ぎよ活動などに従事し、昼夜を問わず地域住民の生命や財産を守るために活動しています。

災害時以外には、訓練や災害を未然に防止するため火災予防、防火指導、特別警戒などを行っています。

消防団は地域防災の柱として、重要な役割を担っており、「大切な家族や地域を守りたい」そんな思いで活動している人間の集まりです。



▲「通常点検」：富士通グラウンド駐車場において、第3分団・第4分団の通常点検が行われました。(11月15日)



▲「規律担当者訓練」：各部規律担当者を対象に規律担当者訓練が行われました。(3月12日)



▲「火災防ぎょ訓練」：消防本部訓練塔において消防団員・消防署員等多くの人が参加し行われました。(3月7日)



▲「歳末夜警(12月26日～30日)」：三木市長が巡察し、激励を受けました。



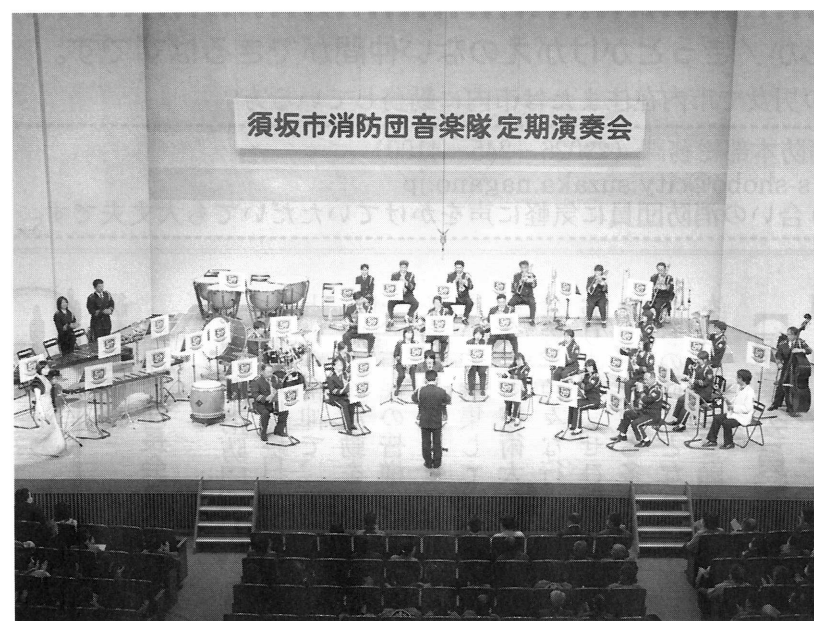
▲「火災防ぎょ訓練」…上田市菅平において須坂市消防団と上田市消防団の合同訓練が行われました。(11月15日)

写真で見る 消防団の活動 (10月～3月)

▲「火災防ぎょ訓練」…五閑町の富士通グラウンド周辺において区民・消防団員等多くの人が参加し行われました。(11月15日)



★ ★ 定期演奏会 ★ ★



本年1月より、音楽隊長を任命されました。

先代隊長から引き継ぎ、昨年までとは違う責任の大きさを痛感しています。

音楽隊は主に各種行事、イベントなどの演奏を通じて予防消防の広報活動を実施しています。

今年も11月にチャリティーコンサートとして定期演奏会の開催を予定しております。

たくさんの皆さんにお越しいただけ、喜んでもらえるように毎週訓練に励んでいます。これからも今まで以上に市民の皆さまから愛される音楽隊になるよう、消防団活動に取り組んでいきたいと思っています。



音楽隊 隊長
とよだ 伸幸
(村石町)

つけましたか？住宅用火災警報器

平成21年6月1日からすべての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました。

悪質販売に注意しましょう

消防団員・職員が住宅用火災警報器をはじめとする防災機器を直接販売したり、特定の業者に販売を依頼することはありません。



なぜ設置が必要か？

住宅火災による死者数が急増し、特に死者の6割が65歳以上の高齢者となっています。

また、死亡に至った原因の7割が逃げおくれで、火災を素早く察知することができれば、避難することも可能になり、助かる確率が高くなります。

消防 団員の声



第8分団
(分団長)
なかざわ たかし
中澤 敬

「郷土愛護と消防団」

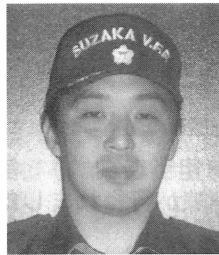
一月より第八分団長として任命されました。第八分団では「自分達の町は自分達で守る」という郷土愛護に基づき、予防消防、各種訓練等など、火災発生時における消火活動、災害発生時における災害活動など地域住民の生命や財産を守るために活動しています。日頃から地域住民の人達と連携をとり、地域防災の柱として消防団活動に取り組んでいきたいと思っています。



第3分団
(1部部長)
やまぐち ひろし
山口 浩

「責任と自覚をもつて」

私は今年度より第三分団一部長を務めておりますが、昨年副部長を経験し「長」とつく役職はとても責任が重いと自覚致しました。どんな行事、会議でも長が居ないと始まらないと。消防団とは地域の安全を保つ事はもちろんですが、団員として日頃の行動にも責任と自覚を持ち続けることを肝に銘じております。更にはその部の長として任期中、それを重く受け止めて消防団活動に従事していきたいと強く思っております。



第1分団
(2部班長)
ながの あきひろ
長野 明弘

「班長に任命されて」

早いもので今年で入団六年目を迎えました。入団当初は、ポンプ操作や夜警など、言われるがままに只々参加するだけでしたが、今は消防団活動の重要性を感じるようになって

できました。今年より班長に任命されることとなり、今まで以上に活動に対する意識を高め、責任感を持って、仲間と協力し、頑張っていきたいと思っております。



第9分団
(1部団員)
たなか あつし
田中 淳

「消防団に入団して」

二年前に仁礼地区へ転居してきました。以前住んでいた地域は消防団が無いも同然でしたが、勤務先の防火管理者などを務めた経験から活動の重要性を認識していたため、勧誘を受けて早速入団させていただきました。

須坂市は自然豊かである分、山林火災など大規模な災害リスクも想定される地域だと思います。火災予防には一人ひとりの心掛けや行動が大切なことはもちろんですが、放火が火災発生原因の上位を占める昨今では、地域住民の連携で出火を防ぐ取り組みが非常に重要な役割を果たすと感じています。地域の一員として、そして伝統ある消防団の一員として、関係各位と共に微力ながら頑張っていきたいと思っております。

須坂市消防団☆団員募集中

地域を愛する消防団に入団しませんか！きっとかけがえのない仲間ができるはずです。

【対象】 18歳以上の男女で市内在住または市内に勤務している方

問合せ 須坂市消防本部総務課 (☎026-245-4100)

e-mail: s-shobo@city.suzaka.nagano.jp

※お知り合いの消防団員に気軽に声をかけていただいても大丈夫です。

編集後記

編集委員長

垂澤分団長会長(第二分団)

私たち消防団員が、「自分たちの地域は自分たちで守る」という精神で、日頃の訓練や予防消防活動を行っている事を、市民の皆様はこの広報紙を通して知って頂ければと思います。

今年も技術大会、定期演奏会等、色々な行事を予定しております。ぜひ間近で御覧頂き、一人でも多くの方に、私たちの仲間となり、頑張ってもらえればと願っています。

【編集委員】

副団長	成田 敏勝
副団長	田中 幸仁
ラッパ長	岩崎 伸幸
音楽隊長	豊田 和則
第1分団長	渡邊 清志
第2分団長	垂澤 寛
第3分団長	大日方 寛
第4分団長	二ノ宮光次郎
第5分団長	吉池 淳一
第6分団長	小林 弘幸
第7分団長	塚田 武弘
第8分団長	中澤 敬弘
第9分団長	篠塚 真誠
第10分団長	竹前 英昭
第11分団長	羽田 英昭